

人口減少社会を超える 地域の連携で描くSDGsの未来

3月14日(金) 14:00~16:30

会場：人権ライブラリー 多目的スペース + オンライン

第1部 今年度の取り組み報告

オープニングトーク

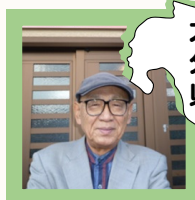
「なぜSDGsと市民活動なのか？」
かたわら 代表理事 高橋悠太さん



第2部 高質な田舎とグローバル

～地域で人が暮らしていく“尊厳”&地方発世界へ～

1. 高質な田舎PART



大分県

福祉コミュニティ
KOUZAKI
理事長
稲生亨さん



秋田県

マルシメ
代表取締役社長
遠藤宗一郎さん



岡山県

ありがとうファーム
アートディレクター
執行役員
深谷千草さん



長野県

チャリティーサンタ
理事
河津泉さん



みどりの市民
事務局長
渡辺ヒデ子さん

これまでにない、市民活動団体独自のSDGs取組枠組みを
「誰一人とりのこさない、持続可能な地域づくり」に取り組む皆様と情報共有します。

私たちSDGs市民社会ネットワーク地域ユニットでは
2023年から赤い羽根福祉基金の助成を得て、調査研究活動を進めています。
1181団体からの回答を得てまとめた調査報告書からの学びと深掘りを進めながら
同時に本年は全国10地域、それぞれに豊かで本質的な取り組みが実施されました。

その共通項の一つとなっている、権利を基盤としたアプローチ(RBA)をもとに
SDGsの精神である「意識と制度の両輪の変革(トランスフォーメーション)」の進め方を
4つの事例からご紹介します。

秋田、大分、長野、岡山のそれぞれの地域性とSDGsが組み合わさった時
私たちが見る「希望」は、具体的にどのような未来でしょうか？

経済は？社会は？環境は？

どのように地域とサステナビリティを高めているのでしょうか？

「希望ある地域の未来」をどのような連携をもって創造するか。

その手掛かりを探ります。

皆様のご参加をお待ちしています。

お申し込み



<本件に関するお問い合わせ> akaihane@sdgs-japan.net

(一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク担当：新田英理子/堺 勇人)

主催：一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク

共催：特定非営利活動法人あきたパートナーシップ、認定特定非営利活動法人長野県NPOセンター、特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進機構、一般社団法人ローカルSDGsネットワーク、一般社団法人環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)、特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター、特定非営利活動法人岡山NPOセンター、一般財団法人CSOネットワーク、公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、特定非営利活動法人おおいだNPOデザインセンター